

生産局長賞

ゆふいんぶつさんきょうかい 由布院物産協会

～一大観光地における、地域の地産地消活動のネットワーク化～

代表者：小野 正文（事務局：湯布院町商工会）

所在地：大分県由布市湯布院町

構成員：湯布院町内の27の法人事業者・個人

活動開始年月日：平成18年4月

表彰理由

全国的観光地湯布院において、地域にねざして生産・加工・観光に携わる事業者や個人が自発的に協会を結成し、地産地消の新たなネットワークを構築。

地元商工会の開催するイベント等において、地元産にこだわって製造した加工品の販売・PRや、旅館等での紹介・提供を各会員が積極的に行うほか、地域関係者間の相互交流・意見交換を行う交流会を実施するなど、組織として様々な業種の会員の活動をまとめ、地元発信の「由布院ブランド」の確立に努めている。

取組内容

1 地域の地産地消の取組のネットワーク化

- 地域外の業者が多種多様な店舗を展開し「由布院ブランド」が氾濫する中、「由布院盆地内の生産農家やそれを利用する業者に限定し、地元・由布院のオリジナリティーをアピールする必要がある」との考えに賛同した23の事業者が、協会を設立。現在では27名に会員が増加。
- 商工会が主催する「ゆふいん十月祭」のメイン行事である「ゆふいん十月祭食談会」に協会として全面的に協力。協会会員の施設を会場に、生産、加工、調理に関わる関係者が一堂に会して、由布院の食材を活用した料理の開発とそれを食しながら意見交換等を行う交流会を実施。
- 町内で商工会が主催する「ゆふいん商工祭り」、「花の木通り商店街土曜夜市」に、協会の会員が出店し、対面販売により消費者に対して、地場農畜産物や加工品の生産情報や利活用の方法の紹介、その商品を提供する飲食店や旅館、交流施設等の案内を実施。また、地域の関係者に対して、協会の設立趣旨等のPRや会員募集を積極的に行っている。
- 協会の各会員が、“高齢者対応型”の宿泊施設「フローラハウス」や体験交流加工施設「うらけん・由布院チーズ工房」、地元の飲食店に農産物を納入している「赤坂の野菜園」などを経営し、優れた地産地消の取組を展開。さらに、協会として会員相互の交流を行い、情報の共有を図ることで地域の活性化につなげている。

2 地域の面的活動の拡大

- 平成20年度には、「おおいた国体交流広場（ゆふいん会場）」や別府市北浜にある「イズミゆめタウン別府」で開催された大分フェアへの参加、福岡市内で開催された「九州三湯温泉祭り」への出店参加など、協会としての活動を充実拡大。
- 現在、「地場産物の認定制度」について、商工会、行政を交えて検討を行っている。